

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

第三千七百三十五號
明治廿六年八月十六日 水曜日
舊曆癸巳七月五日 (乙酉)
出版時間
日 午前八時五分
月 午前八時五分
入 午前八時五分
出 午後八時三十分
西曆一千八百九十三年

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價運送料は左の如し
一號 貳錢五厘〇一ヶ月 前金五拾錢〇三ヶ月 前金壹圓四拾五錢〇六ヶ月 前金貳圓八拾五錢〇一ヶ年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

時事新報運送料

- 一 日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山、津浦、南亞米利加、中央亞米利加、布哇諸島、米國若くは加奈陀を経て郵送する歐洲各國 一ヶ月 金六拾錢
- 二 北米合衆國、英領加奈陀 一ヶ月 金三拾錢
- 三 香港を経て郵送する亞細亞諸島、太平洋諸島、澳洲 一ヶ月 金六拾五錢
- 四 露領滿洲、清國諸港 一ヶ月 金三拾五錢

時事新報廣告料(附金)

一行五號字廿四行 一日限一日以上七日以上 一ヶ月 一付十三錢十一錢十錢五錢

本社(寄稿)の付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填寫するより各社同一の記事を掲載するより算からず獨り時事新報社に社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずとも世間往々此事を知らずして通信社に多きが如し爲めに本報に其報道は速なる事と信ぜられ本報に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ
時事新報社ニ送ラタル投書ノ原稿ハ凡テ寄稿者ニ返ヘサズ又本社ニ保存セズ

時事新報

飽くまでも銀國たる可し

世間一種の論者は爲替相場の下落するを以て我國の不利と爲し速に今日の幣制を改めて金貨本位を採用し以て銀貨の暴落を避けざる可らずと主張するよしなれども元來銀の下落は昨今突然に始まりたるものに非ず數年前より既に金銀の相場に著しき等差を生じ今日では唯其上に一歩を進めたるまでに過ぎざれば此期に臨んで俄に事珍らしく金本位論を唱ふるが如きは聊か狼狽の沙汰にして斯る議論に同意する者は稀なる可しと思ひ我輩は特に之を注意するもなかりしに近頃聞く所に據れば政府の筋にも金本位論に賛成する人ありて現に大蔵省にて幣制改革の利害得失を調査せしめつゝありと云ふ抑も金銀價格の變動は經濟上近來の大事件なれば大蔵省にて之に應ずるの政策を考究するは固より其處なれども若し世上に評判するが如く政府が果して始より金本位を採用するの覺悟にて此度の調査を爲すものにてあらんには我輩は大に反對を表せざるを得ず過日來毎度時事新報にも述べたる如く銀價の下落は我商品の輸出を獎勵し内地の工業商賣を發達せ

官報

○選信省告示第二百二號
來ル九月一日ヨリ信濃國西筑摩郡王瀧村ニ王瀧郵便局ヲ置キ其等級ヲ三等トス
明治二十六年八月十五日
選信大臣伯耆黒田清隆
○正誤 去月二十七日官報附録內發售元第三十七號別冊各地方町村別現住人口表一頁四段二十一行高崎ノ數二四、九〇六、二五、九〇九ノ誤

雜報

○銀價問題、印度の金 印度の幣制改革は金貨本位の方に一步を進めたるに過ぎざれども若し此上尙一步を進めて流通銀貨を引上げ純粋の金貨本位とならんとするには其金を得るの道と合衆國が金を得るの道と難易孰れにあるか先頃の印度新聞紙は之を論じて兩國共に之を輸入せんとすれば倫敦市場に於て求めざるべからず故に印度は合衆國よりも容易く得るの便利ありとの説を載せたるが一報に據れば印度には既に少からざる金の準備があるが如し即ち其報に曰く過る千八百三十五年以後印度に於ける金は輸出を差引輸入の超過せしむ凡八億佛内外にして其内貨幣に鑄造したるは極めて些細の高なり大抵貨幣裝飾品となし若くは銀行及び國庫に貯蔵して今尙存在せり故に一朝若し金貨國と爲さんんと欲すれば七億餘萬の資本を得るものと難からざるべし云々右は米國華盛頓の確かなる筋にて開込む所なりとて紐育のポスト新聞に記せり
印度土人 の手に所有する貨幣外の銀の高は何程なるべきや英國議院に於て近頃其議問起れり即ち某氏は大蔵大臣に向ひて先きにハーネル委員取調中印度土人の所有する貨幣外の銀の高は果して何程と云ふふとを確かめたるや且又自由鑄造廢止以後其下落の爲めに彼等が損する價值は總計何程なるべきやと尋ねたるに大蔵大臣は之に答へてハーネル委員會へ其計算を提出したるものは少からざる數なれども到底實際の高は知る能はざるものと決せり故に下落の影響も亦明かならずと云ひしよし

○日本煙草の評 倫敦新聞のシタゴ通信中に日本煙草の評あり曰く日本より出品したる他の物品と同じ煙草も亦其國民の憐愍なるを證するものなり場内に入るものは何物によらず總べて日本品の精巧美麗なるに驚くもならん煙草一袋の中には夫れだけ多數の葉あるもなるに一本毎に奇麗に整へたる様恰も其煙を吹す爲めにはあらずして食用せんが爲めのものに似たりパイプも亦意に手薄のものにて一握の煙草を支ふるも殆んど六ヶ敷かるべしと思はるる程なり紙巻の恰好は最も人氣に投じたる形にして英國産等と異なるもどなく其外種々米國の需用者を喜ばす點あり聞く所に據れば日本内地製造家の重立ちたるものは廣く米國へ販路を擴めんよと計畫し既に海岸諸方へは多少の賣行ありとの味は葉の薄き爲め色と共に淡泊なり云々

○漁場探險船の消息 水産調査會にては曩に汽船清江丸を備入れ鑄木技師等乘込み金華山沖に於ける新漁場探險として出發したるが同船は本月八日岩手縣下氣仙郡大船戸に著し目下海面七十哩の沖合に於て夫々試漁中の由又金田技師の乗込みたる千嶋丸は此程北海道釧路國濱中に到着し目下獵虎其他の漁場等探險に従事し居る由なるが同船は近日千嶋丸向け出發する旨一兩日前同會へ通報ありたるよし

○米況週報 去る十三日前の一週間に於ける深川米問屋市場の米況は概して不振の方に於て價格も漸次低落せり故に常用の外は何分抄々數手出なく爲めに近頃にならぬ散の市況なりし而して同週間及前々週の賣價高と標準相場の平均直段は左の如し

前通賣平均	四六七六	一五平均直段	七五九
前通賣平均	一〇三三三	同	七四一

○神戸の茶況 神戸 入れ居りし高直の製茶 今に既に安直の分ののみ賣出 百二十餘萬斤となりし 呈せしに之を忽ち直段行 控へ又三十四番モリヤ 濱へ赴む其歸港までで 只九十二番(四千三三三) 一口ありしのみ最も沈 横濱生絲週報 (八月六日より十二日に 如し)

品名	本年六月一日	本年六月一日
生絲相場	一、八〇〇	一、七〇〇
海味相場	二、五〇〇	二、四〇〇
...

○ノンキヤ 男ありけるが如何なる 妻を箱に入れて鏡を 物と云へ斯く土用乾 生えつらんと思はれ 評議を疑らしたる未 どの結論に達したり 誰なるらんと迎へて 更なる間主人は答へ 重箱を探るが如き最 ども内君の所在は知れ